

# 第106回 食の安全「基本のお話」



## 遺伝子組換え食品による健康被害はあるの？

認可された遺伝子組換え食品による健康被害の報告はありません。

WHO(世界保健機関)は「遺伝子組換え食品が承認されている国々では、人の健康に及ぼす影響は確認されていない」との見解を示しています。

過去に報告された「遺伝子組換え大豆でネズミの子どもの死亡率が上昇」(2005年ロシア)や、「遺伝子組換えトウモロコシでネズミのガン発症率が上昇」(2012年フランス)との報告は、その後公的機関によって否定されています。



※詳しい情報はこちらから  
厚生労働省の  
ホームページ

## ■ 遺伝子組換え食品は、食品衛生法により安全性が確認されたもののみが流通できます。

1996年に遺伝子組換え食品が市場に出てから、認可後に安全性が問題となり、認可が取り消された品種はありません。



## ■ 「健康被害が明らかになった？」という映画

ジェフリー・スミス氏<sup>※1</sup>制作の『遺伝子組み換えルーレット(2012年)(アメリカ)』では「遺伝子組み換え作物で、肥満、糖尿病、心臓病、ガン、アルツハイマー症、自閉症、パーキンソン症、肝臓病、喘息、アレルギー、肺炎、線維筋痛、皮膚炎、関節炎、腎炎、肝硬変、胃炎、リンパ腫(中略)…の実害が」としています。「アメリカで遺伝子組換え食品が増えた時期に、患者数が増えた病気と関係があるはず」との内容ですが、科学的な根拠は示されていません。

この映画公開後の2016年、全米科学アカデミー<sup>※2</sup>が、過去20年間の約900件におよぶ研究成果をもとに包括的に評価した結果、がんや肥満、胃腸や腎臓の疾患、自閉症、アレルギーなどの増加を引き起こす証拠はないとの報告書を公表しています。

※1 ジェフリー・スミス氏:1956年生まれ。空中浮遊術と超越瞑想、遺伝子組換え反対運動などで知られるアメリカの自費出版作家、プロのダンス・インストラクター。

※2 全米科学アカデミー:1863年設立。科学、技術、医学に関し、政府とは独立して助言を行うほか、学術の発展に寄与することを目的としている。会員は、ノーベル賞受賞者約190人を含む約3000人。

## ■ 映画『WELL FED』

遺伝子組換え作物を題材に、持続可能な農業、食糧問題を考えさせられるドキュメンタリー映画です。

昨年12月開催の上映会では、元毎日新聞編集委員の小島氏より、反対運動の実態と合わせて「SDGsに貢献している遺伝子組換え作物」というお話をいただきました。

映画は無料で視聴できます。

※画面右下のCCマークをクリックして、「日本語字幕」を選択してください。

※アンドロイドの場合、Vimeoアプリをダウンロードして、「i」からの操作が必要な場合があります。



映画『WELL FED』は  
こちらから

